

# アートをもっと楽しもう！美術館学芸員講座

浜松市美術館では令和6年度「アートをもっと楽しもう！美術館学芸員講座」を新たに開催します。学芸員がそれぞれの研究分野、担当した展覧会、館蔵コレクションや地域ゆかりの芸術・文化等を主題に、その価値や魅力をお話します。



**場所** 浜松市美術館・2階講座室  
**時間** 午後2時～午後3時30分 **定員** 各日50名  
**料金** 要観覧料(講座日に開催中の展覧会観覧料)

- 1 7月6日(土) 吉祥図を読み解く** **講師:内山智恵**

松、竹、梅、蓮、牡丹、瓜、唐子、金魚、蝙蝠…絵画や工芸作品に度々登場するこれらの主題や文様は、好ましい意味合いが付された吉祥図の一つです。代表的な吉祥図について、それらがどのような起源で成立したのか、中国や日本の作例をもとに込められた意味や歴史等を辿ります。

**【申込期間】6月6日(木)～7月5日(金)(※定員に達し次第受付終了)**



繪巻紅牡丹唐文土師代 浜松市美術館蔵
- 2 8月24日(土) 浜松のみほとけー平安～鎌倉・南北朝時代までー** **講師:島口直弥**

浜松市内には10世紀に遡る一木造りの作例から12世紀の定朝様式を示す作例まで、平安時代に遡る木彫像が点在しています。また、鎌倉時代の慶派仏師、南北朝時代の院派仏師の作例は重要文化財に指定されています。浜松伝来の作例から仏像の見方を基礎から解説し、時代ごとの変遷を展覧します。

**【申込期間】7月24日(水)～8月23日(金)(※定員に達し次第受付終了)**



大正昭和後 慶派時代 出水庵蔵
- 3 10月27日(日) 日本のガラス絵、世界のガラス絵** **講師:増井敦子**

ガラス絵は、表から見える部分を最初に描き、通常の絵画とは逆の順番で制作します。14世紀頃にヴェネチアで生まれてヨーロッパ全域に広がり、中国を経由して日本に輸入されました。ガラス絵の歴史をたどりながら、世界のガラス絵と日本のガラス絵を比較し、その魅力に迫ります。

**【申込期間】9月27日(金)～10月26日(土)(※定員に達し次第受付終了)**



青原善五郎人物画 (今時代 浜松市美術館蔵)
- 4 12月1日(日) 絵本の絵を読む** **講師:安岡真理**

登場人物の心理描写や細部に描かれたサイドストーリー、独特の色彩や質感表現など、絵本の絵には物語を視覚化しただけではないたくさんの魅力があります。本講座では子供たちに愛され続ける名作絵本を例に、視覚芸術の観点からその魅力を読み解きます。

**【申込期間】11月1日(金)～11月30日(土)(※定員に達し次第受付終了)**



『はじめてのおつかい』表紙 (筒井絵子・作、林明子・絵、福音館書店、1977年)

**お申込みはこちら(専用フォーム)**

○申込開始は各日正午、申込終了は各日午後11時59分です。  
 ○フォームに必要事項をご入力ください。(自動返信有)

浜松市美術館 (454-6801) 担当:島口

講座1



講座2



講座3



講座4

